

はじめて使うとき

使うための準備

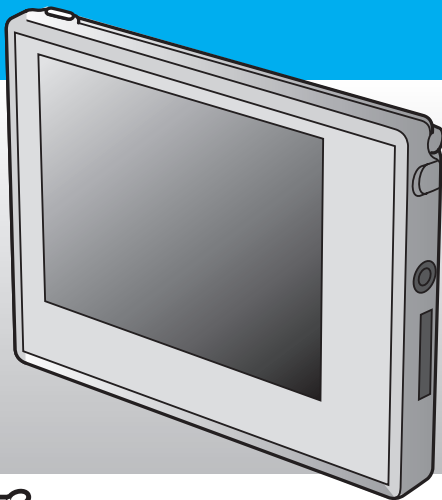
使いかた

いろいろな設定

故障かな？と思ったら

BLUEDOT®

3.5 インチポータブルデジタルテレビ
BTV-350
取扱説明書



ワンセグ

BLUEDOT 株式会社

ごあいさつ

このたびは弊社ポータブルデジタルテレビをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。ご使用の前に本書をよくお読みになり、記載内容に従ってください。また、お読みになった後は、必要なときにすぐにご覧いただけるよう大切に保管してください。

■ワンセグとは

携帯機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスです。従来の地上アナログ放送と比べ移動中の受信安定度が向上しており、番組表や番組情報などの付加情報サービス(*)も受信できます。2006年4月1日に放送サービスが開始され、放送エリアも順次拡大しています。さらに詳しい情報は、社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページをご覧ください。
<http://www.dpa.or.jp/>



* 本機は、データ放送サービスには対応していません。

【メモ】 ワンセグは携帯機器向けのサービスのため、画面の精細度や動きの滑らかさは従来のアナログ放送よりも低くなります。

【メモ】 電波が届きにくい場所では、受信できないことがあります。アナログ放送が受信できる場所であっても、ワンセグ放送が受信できるとは限りません。

■免責事項

- ・ 本書の内容や本機の外観、機能、仕様、ファームウェアなどは、改善のため将来予告なく変更することがあります。
- ・ 本書の一部またはすべてを弊社に無断で転載／複製することは法律により禁止されています。
- ・ 本書および本機の使用により何らかの不具合や故障などが生じた場合、データやその他の損失、および直接的／間接的な損害について、弊社では一切の責任を負うことができません。本機を修理に出されたときも同様です。あらかじめご了承ください。
- ・ 保証期間内であっても、取扱説明書や保証書、背面印刷などに記載されている注意事項に沿わない使用による故障や破損につきましては、弊社は一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。

■著作権について

放送内容を個人で楽しむほかは、権利者に無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

もくじ

安全にお使いいただくために	3	いろいろな設定	26
はじめて使うとき	9	設定のしかた	26
付属品の確認と各部の名称	9	設定項目一覧	27
画面の見かた	11	< TV 設定 > 字幕	
ストラップの使いかた	13	音声	
使うための準備	14	チャンネル（地域設定）	
充電のしかた	14	チャンネル（自動設定）	
チャンネル設定のしかた	16	情報表示	
使いかた	20	< 機器設定 > Language（言語）	
テレビ放送を視聴する	20	配色	
視聴中に使える便利な機能	23	液晶パネル	
		電源ボタンの割当	
		ファームウェア更新	
		バージョン	
		工場出荷設定	
		故障かな？と思ったら	29
		表示のトラブル	29
		本体のトラブル	32
		エラー表示と対処方法	35
		ファームウェアの更新	36
		廃棄について	37
		製品仕様	38

安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例		この記号は注意しなければならない内容を表しています。
		この記号は、禁止される行為を表しています。
		この記号は、行わなければならないことを表しています。

 警告 **プラグを抜く**
異常を感じたら

万一、煙が出たり、異臭や異音がするなどの異常が見つかったときは、直ちに本体の電源を切ってください。AC アダプターをコンセントに接続しているときは、直ちに抜いてください。その後、弊社サポートセンターまで修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので、絶対に行わないでください。

 注意

付属の AC アダプターは日本国内専用です。
海外での使用によって故障した場合は、保証対象外となります。

 禁止

付属の AC アダプターは AC100 ～ 240V、50/60Hz 以外の電源で使用しないでください。
指定の電圧以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

 ！

AC アダプターは必ず付属品を使用してください。
付属品以外のものを使用すると、火災の原因となります。

 禁止

濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

 禁止

電源コードの上に重い物を載せたり、コードを無理に曲げたり、ステーブルで留めたり、加工したり、傷つけたりしないでください。
火災や感電の原因となります。

 ！

プラグのほこりやゴミを取り除いてください。
AC アダプターのプラグにほこりや金属物などが付着しているときは、コンセントから AC アダプターを抜き、乾いた布で拭き取ってください。
火災や感電の原因となります。

 分解禁止

本体や AC アダプターを分解しないでください。
本体や AC アダプターのカバーを外さないでください。
火災や感電の原因となります。

 **メモ** 本機を廃棄するときは、本書の案内に従ってバッテリーをリサイクルしてください。
(37 ページ「廃棄について」参照)

(次のページに続く)



禁止

航空機や病院内などでは使用しないでください。

航空機や病院内など使用を禁止されている場所では、必ず電源を切ってください。

電子機器や医療機器が誤動作するなどして、重大な事故の原因となる恐れがあります。



禁止

本機を落としたり、強い衝撃を与えたときは、使用を中止してください。

落としたりしてカバーやケースが壊れたときは、直ちに本体の電源を切ってください。AC アダプターをコンセントに接続しているときは、直ちに抜いてください。その後、弊社サポートセンターまで修理をご依頼ください。

そのまま使用を続けると、火災や感電の原因となります。



禁止

本体や AC アダプターに水をかけたり、金属や可燃性のものを内部に入れないでください。

内部に水や金属、燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。



禁止

次のような場所には設置しないでください。

- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所
転倒や落下だけがをしたり、本機が故障する原因となります。
- ・油煙や湯気が当たるところ、湿気やほこりの多い場所
火災や感電、故障の原因となります。
- ・窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所
など、異常に高温になる場所
熱によって本機が変形、変色、劣化したり、故障や火災の原因となります。
- ・寒暖の差が激しい場所
結露して火災や感電の原因となります。また、本機が
変形したり、劣化する原因となります。
- ・水の入った容器の近く、台所、浴室、屋外など、水に濡れやすい場所
本体や AC アダプターに水がかかると、火災や感電、故障の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り始めたら、AC アダプターに触れないでください。

感電の危険があります。

**禁止**

本体や AC アダプターを、布や布団でおおわないでください。

発熱して本機が変形、劣化したり、故障や火災の原因となります。

**禁止**

車、オートバイ、自転車などの運転中や歩行中は視聴しないでください。

重大な事故の原因となります。

どうしても操作が必要な場合は、安全な場所に止まってから操作してください。

運転手以外の人が視聴するときは、運転手が周囲の音を聞き取れるよう音量に注意してください。

**禁止**

指定以外の電池を使用しないでください。

火災や破損、液漏れの原因となります。



バッテリーは指定の方法で充電してください。

間違った方法で充電すると、火災や破損、液漏れの原因となります。

**禁止**

電池を加熱、分解したり、火の中に入れてください。

破損や破裂をして、けがや火災の原因となります。

**注意****禁止**

液晶画面や本体に大きな衝撃や力を加えないでください。破損やけがの原因となります。

**プラグを抜く**

旅行などで長時間使用しないときは、安全のため、必ずコンセントから AC アダプターを抜いてください。

**禁止**

コンセントから AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。アダプター部分を持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因となります。

**禁止**

液晶や電池から液漏れしたときは、液に触らないでください。

液が目に入ったり、体や衣服に付着すると、失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

万一、液が付着してしまったときは、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗い流してください。異常が見られるときは、医師に相談してください。

(次のページに続く)



禁止

動作中の本体に長時間、触れないでください。

動作中は、本体の背面の温度が高くなるため、長時間触れていると低温やけどの原因となります。異常が見られるときは、医師に相談してください。



禁止

お子様が本体や AC アダプターの上にのらないようにしてください。

破損やけがの原因となります。



移動するときは AC アダプターをコンセントから抜いてください。

けがや火災、感電の原因となります。



AC アダプターのプラグは根本まで確実にコンセントに差し込んでください。



イヤホンを使用するときは音量に注意してください。

イヤホンをつける前に音量が最小になっていることを確認してください。大きな音量のままイヤホンをつけると、突然、大きな音が出て聴覚障害の原因となることがあります。また、イヤホンの長時間使用も聴力に悪影響をおよぼす恐れがありますので、おやめください。



お手入れの前に必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。

破損や感電の原因となります。

使用に関する注意

本機は日本国内専用です。

本機は日本国内の携帯機器向け地上デジタルテレビ放送サービス（ワンセグ放送）を受信することを前提に設計された製品です。他の国では使用できませんので、あらかじめご了承ください。

●お手入れについて

水滴や汚れが付いたときは、電源をオフにして、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

油汚れが付いたときは、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をよく絞ってからふき、乾いた布でもう一度拭いてください。

注意 ベンジンやシンナー、アルコールなどは絶対に使用しないでください。変形・変色や故障の原因となります。また、磨き粉やタワシなども使用しないでください。破損の原因となります。

●結露について

寒い場所から暖かい場所に本機を移動したり、湿気の多い場所に設置したりすると、湿気が本体内部や表面に結露することがあります。その状態で電源を入れると故障の原因となりますので、電源を切ったまま 1 時間ほど放置し、結露がなくなったことを確認してから電源を入れてください。

●画素欠陥（ドット欠け）について

液晶パネルは高精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。詳しくは弊社ホームページ (<http://www.bluedot.co.jp/>) をご覧ください。

●視聴時の注意

暗い場所での視聴や長時間の視聴は、目の疲れや視力低下に繋がることがあります。暗い場所や長時間の視聴は避け、身体に不快感や痛みを感じたときは視聴をやめて休憩してください。身体に異常が見られるときは、医師に相談してください。また、イヤホンやスピーカーの音量を大きくしすぎないでください。聴覚障害の原因になったり、周囲の迷惑になることがあります。

●電波障害について

本機をテレビやラジオなどの電気機器の近くに設置した場合に、映像や音声にノイズが入るなど、互いに悪影響を及ぼすことがあります。その場合は機器を離して設置してください。

●バックライトの寿命について

バックライトに利用している発光ダイオード (LED) には寿命があります。バックライトが非常に暗い、もしくはまったく点灯しないといった場合は、弊社サポートセンターまで修理をご依頼ください。なお、バックライトは消耗品のため、劣化による修理は保証期間内であっても保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

はじめて使うとき

本機を使用する前に知っておいていただきたい情報や、必要な作業を説明しています。

付属品の確認と各部の名前

メモ 万一、不足しているものがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

●本体 1台

< 前面 >

タッチボタン

上ボタン: チャンネルの切り替えやメニューの選択時に押します。

下ボタン: チャンネルの切り替えやメニューの選択時に押します。

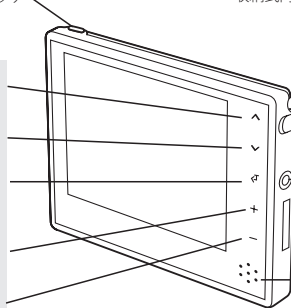
メニュー / 選択ボタン: メニューの表示や選択項目を決定するときに押します。

音量+ボタン: 音量を上げたり、前の設定画面に戻るときに押します。

音量-ボタン: 音量を下げたり、設定画面を閉じるときに押します。

電源スイッチ

収納式内蔵アンテナ



外部アンテナ端子: 別売の外部アンテナを接続する場合に使用します。

イヤホン端子: 付属のイヤホンを接続します。

I/O 端子: 充電時に付属の電源ケーブルを接続します。

スピーカー

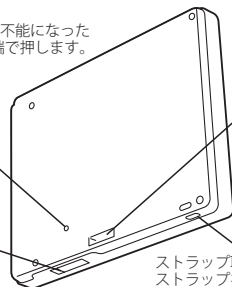
メモ タッチボタンは、絵の中心を「指先で軽く触れる」ように押してください。強く押す必要はありません。

メモ 外部アンテナを接続すると、より安定した環境でワンセグ放送を受信できます。

< 背面 >

リセットスイッチ: 万一、操作不能になった場合に、ボールペンなどの先端で押します。

ホールドスイッチ: ボタン操作を無効にして誤操作を防ぎます。

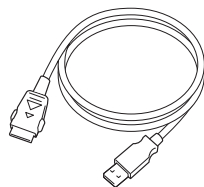


スタンド取り付け溝: 本体を立てて使うときにスタンドを取り付けます。

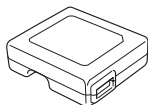
ストラップ取り付け部: 付属のストラップを取り付けます。

●電源ケーブル 1本

本体と AC アダプター、もしくはパソコンを接続します。

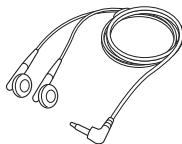


●AC アダプター 1個



メモ 出荷時はビニールカバーが付いています。使用前に取り外してください。

●ステレオイヤホン 1個



●ストラップ (ひも 1本、スタンド 1個)



メモ 出荷時はストラップのひもとスタンドが別々になっていますので、下図のようにスタンドにひもを取り付けてください。

●取扱説明書 (本書) 1冊

●保証書 1部



画面の見かた

< 視聴時 >



メモ 放送局名や番組名などは表示をご理解いただくための例です。テレビ映像の画面はイメージです。

メモ 画面サイズは番組によって異なります。テレビ映像が 4:3 の場合は、左右に帯が出ます。

< 字幕表示時 >

字幕表示を「オン」にした場合、画面下部がその表示領域になります。



字幕：放送中の番組に字幕情報がある場合は、ここに表示されます。

【メモ】電波の受信状態の表示

受信状況をアンテナアイコンの表示で表します。



受信状態： 受信できない → 悪い → → → 良い

※電波の受信状態がめまぐるしく変わる場所では、実際の受信状態とアイコンの表示が一致しないことがあります。

【メモ】バッテリー残量の表示



バッテリー残量： 少ない → → → → 多い

< メニュー設定時 >

電源が入っているときにメニュー / 選択ボタンを押すと、メニューが表示されます。



【メモ】時刻表示について

受信中の放送波から抽出した時刻情報を表示します。このため、弊社では時刻の精度を保証しておりません。電波状態が悪い場合や、時刻情報を含まない放送を受信しているときは、時刻は表示されません。電波状態が不安定な場合、時刻表示が止まることがありますので、ご注意ください。

【メモ】時刻、電波の受信状態、バッテリーの残量は、表示 / 非表示を切り替えられます。詳しくは 26 ページ「いろいろな設定」を参照してください。

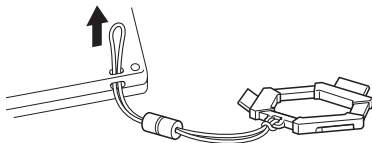
ストラップの使いかた

必要に応じて本体にストラップを取り付けたり、スタンドを取り付けます。

付属ストラップの取り付け

図のようにストラップを取り付けます。

1



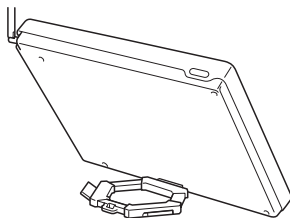
2

ひもの輪にストラップを通します。



付属スタンドの取り付け

本体を立てて使うときは、ストラップに付いているスタンドを本体に取り付けます。



差し込む突起によって本体の角度が変わります。
お好みの角度で使用してください。

使うための準備

購入後にはじめてお使いになるときは、最初にバッテリーを充電します。次に、お住まいの地域で放送しているチャンネルを本体に設定します。ここでは、テレビが視聴できるようになるまでの手順を説明しています。

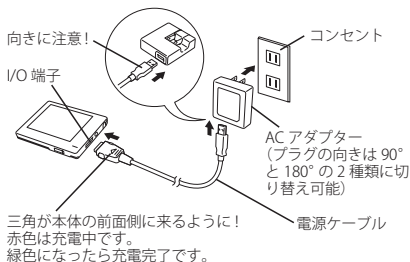
充電のしかた

内蔵バッテリーは2通りの方法で充電できます。

⚠ 必ず付属の電源ケーブルと AC アダプターを使ってください。他のケーブルやアダプターを使用したり、本機付属のケーブルとアダプターを他の製品に使用した場合、保証対象外となります。

コンセントに直接つなぐ方法

図のように接続してください。

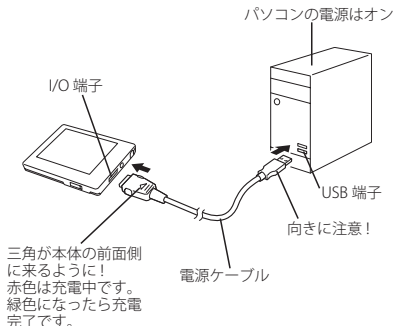


メモ 電源ケーブルの三角ランプが点灯しないときは充電できていません。電源ケーブルや AC アダプターがしっかり接続されているか確認してください。

(次のページに続く)

パソコンを使う方法

図のように接続してください。



メモ 接続後、パソコンのディスプレイにハードウェアの検出を知らせるメッセージが表示された場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

メモ パソコンで充電した場合、充電時間が長くなることがあります。

メモ 電源ケーブルの三角ランプが点灯しないときは充電できていません。電源ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

注意 バッテリーに関する注意

- ・内蔵バッテリーの充放電時間の目安は次のとおりです。

満充電での連続視聴時間 (*1)	約 3 時間
残量ゼロから満充電までの充電時間 (*2)	約 3 時間

*1 液晶の明るさと音量が工場出荷値、イヤホン使用、タッチパネル操作なしの場合の計測値

*2 電源オフで充電した場合

- ・バッテリーは、周囲温度が + 5℃ ~ + 35℃ の環境でお使いください。
- ・充放電時間は外部環境で変わります。バッテリーは電源を切った状態でも、少しずつ放電します。
- ・充放電を繰り返すことでバッテリーは劣化し、視聴可能時間が短くなります。極端に短くなったときは、弊社サポートセンターまで修理交換をご依頼ください。なお、内蔵バッテリーは消耗品ですので、劣化による修理交換は保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。
- ・充放電回数の目安は約 500 回です。(保証値ではありません。)
- ・充電中は AC アダプターを外さないでください。
- ・充電中に本体背面が温かくなることがありますが、故障ではありません。

メモ バッテリーはお客様ご自身で交換することはできません。

チャンネル設定のしかた

チャンネルは 2 通りの方法で設定できます。

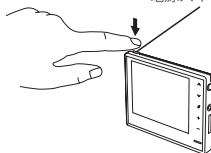
- ①地域名でチャンネルを登録する(地域設定)
- ②チャンネルを検索して登録する(自動設定)

メモ チャンネルを登録しないと、テレビ番組を見ることはできません。

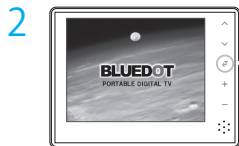
地域名でチャンネルを登録する

お住まいの地域名を選択してチャンネルを登録します。

- 1 電源スイッチを 1 秒以上押します。



画面に BLUEDOT ロゴが表示されます。



メニュー / 選択ボタンを押してメニューを表示します。

- 3 もう一度、メニュー / 選択ボタンを押して [TV 設定] を選択します。

4



- 1) [下へ] ボタンを 2 回押して「チャンネル (地域設定)」を選択します。
- 2) [選択] ボタンを押します。

5



- 1) [上へ] / [下へ] ボタンを押して地域を選びます。
- 2) [選択] ボタンを押します。

6



- 1) [上へ] / [下へ] ボタンを押して都道府県 / 都市を選びます。
- 2) [選択] ボタンを押します。

メモ お住まいの地域が登録されていない場合もあります。

(次のページに続く)

7



チャンネルの設定を保存しておくときは「設定 1」～「設定 4」ボタンのどれかを押します。

設定を保存しないときは「戻る」ボタンを押します。

メモ いくつかの受信地域で使用する場合にそれぞれのチャンネル設定を「設定 1」～「設定 4」に保存しておくことで、簡単にチャンネル設定を切り替えられます (25 ページ「チャンネル設定の呼び出し」参照)。

メモ すでに登録されている設定番号を選んだときは、上書きを確認するメッセージが表示されます。

メモ 設定されたチャンネルは地域名を基準としていますが、本機を使用する場所や電波状態によっては受信できない場合もあります。また、サービスを開始していないチャンネルが登録されている場合もあります。

8 「閉じる」ボタンを押してメニューを閉じます。

これでチャンネルが登録されました。

メモ 電源を切るときは、電源スイッチを 1 秒以上押します。

チャンネルを検索して登録する

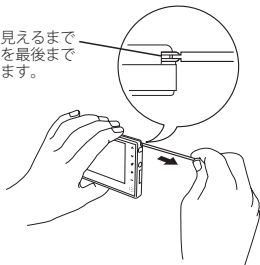
今いる場所で本機が受信できるすべてのチャンネルを登録します。

メモ チャンネル検索には数分かかります。

メモ 屋外など電波状態の良い場所で行ってください。見通しの良い場所でも、電波が届かない放送局は登録できません。

1

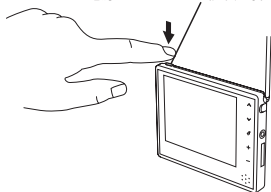
ヒンジが見えるまでアンテナを最後まで引き出します。



注意 アンテナはヒンジ部でしか向きを変えられないので、無理に曲げないでください。破損の原因となります。

注意 アンテナで目や他の人を突かないように注意してください。

2 電源スイッチを1秒以上押します。



画面に BLUEDOT ロゴが表示されます。



4 もう一度、メニュー/選択ボタンを押して [TV 設定] を選択します。

5 1) [下へ] ボタンを3回押して「チャンネル(自動設定)」を選択します。



2) [選択] ボタンを押します。

6 [はい] ボタンを押して検索を始めます。



「チャンネル検索中」と表示され、受信可能なチャンネルが順次、表示されます。

メモ [中止] ボタンで検索を中断できます。

(次のページに続く)

- 7 見つかったチャンネルの設定を保存しておくときは検索終了後に [設定 1] ~ [設定 4] ボタンのどれかを押します。



- メモ** いくつかの受信地域で使用する場合にそれぞれのチャンネル設定を「設定 1」～「設定 4」に保存しておくことで、簡単にチャンネル設定が切り替えられます (25 ページ「チャンネル設定の呼び出し」参照)。
- メモ** すでに登録されている設定番号を選んだときは、上書きを確認するメッセージが表示されます。
- メモ** チャンネルが見つからなかった場合は、電波の受信状態が良い場所でもう一度試してください。

- 8 [閉じる] ボタンを押してメニューを閉じます。

これでチャンネルが登録されました。

- メモ** 電源を切るときは、電源スイッチを 1 秒以上押します。

使いかた

テレビの視聴方法や便利な機能についてを説明しています。

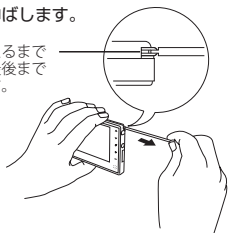
メモ 本機をはじめて使用するときは、14 ページ「使うための準備」の作業を先に行ってください。

テレビ放送を視聴する

基本的な操作のながれを説明しています。

1 アンテナを伸ばします。

ヒンジが見えるまでアンテナを最後まで引き出します。



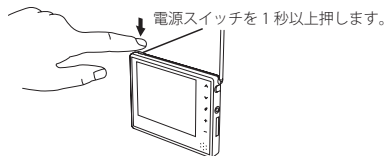
注意 アンテナはヒンジ部でのみ向きを変えられます。無理に曲げないでください。破損の原因となります。

注意 アンテナで目や他の人を突かないように注意してください。

メモ 電波状態の良い場所では、アンテナの上 2 段を縮めた状態でも視聴できます。



2 本体の電源をオンにします。



画面に BLUEDOT ロゴが表示され、テレビ放送が映ります。

メモ 起動するまでにしばらく時間がかかります。

メモ 映りが悪いときはアンテナの向きを変えたり、別の場所へ移動してください。

3 ボリュームを調整します。



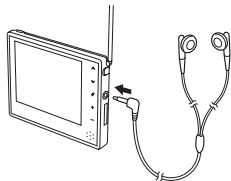
← 押して調整します。

音量が表示されます。

(次のページに続く)

メモ 必要なときは付属のイヤホンを接続して使用してください。

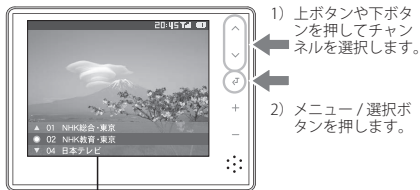
注意 安全のため、イヤホンを接続する前に音量を下げてください。



4 チャンネルを切り替えます。

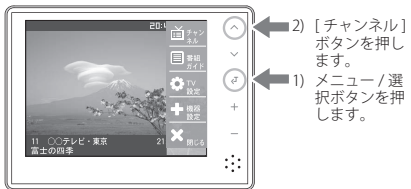
チャンネルは2通りの方法で切り替えられます。

＜簡易リストで切り替える場合＞

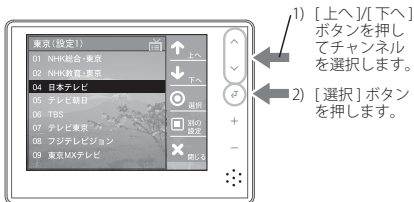


チャンネル名が表示されます。

＜一覧画面から選ぶ場合＞



- 2) [チャンネル] ボタンを押します。
- 1) メニュー/選択ボタンを押します。

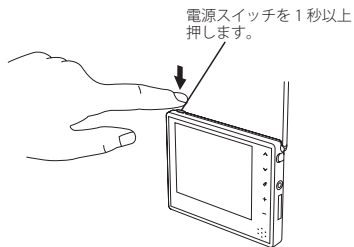


- 1) [上へ]/[下へ] ボタンを押してチャンネルを選択します。
- 2) [選択] ボタンを押します。

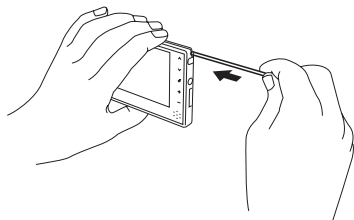
メモ チャンネルの切り替えには数秒かかります。

メモ 地形や建物などによって電波がさえぎられる場所や電波が弱い場所では、受信できないことがあります。トンネル、地下、建物内などで電波が届かない場合は、受信できません。

5 視聴が終わったら、本体の電源をオフにします。



6 アンテナを元に戻します。



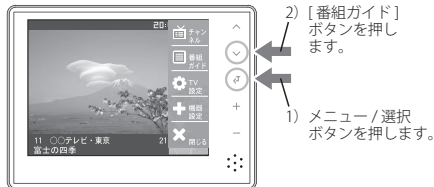
視聴中に使える便利な機能

✕モ 字幕放送の表示 / 非表示の切り替え、音声の切り替えについては、26 ページ「いろいろな設定」を参照してください。

番組情報の表示 (番組ガイド)

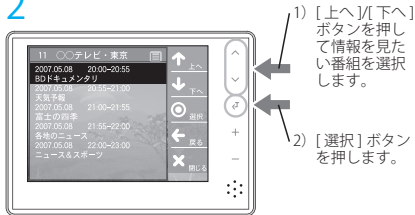
視聴しているチャンネルの番組表や、番組内容などの情報を見ることができます。

1



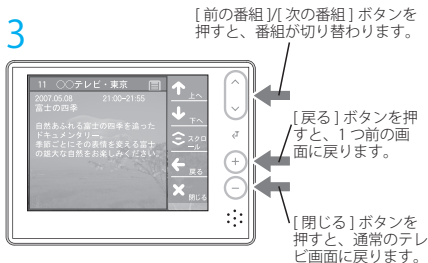
視聴しているチャンネルの番組表が表示されます。

2



番組の情報が表示されます。

3

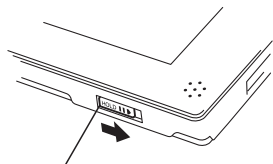


✕モ 画面内に情報が入りきらない場合は [スクロール] ボタンを押すと、情報がスクロール表示されます。

ボタン操作の禁止（ホールド）

誤操作を防ぐために、ボタンが反応しないようにできます。

1



ホールドスイッチを右に動かします。

ホールド中にボタンを押すと、操作がロックされていることを表すアイコンが表示されます。



2

ボタン操作を有効にするときは、ホールドスイッチを左に戻します。

電源ボタンを使った機能の呼び出し

電源ボタンに各種の機能を登録し、呼び出すことができます。

1

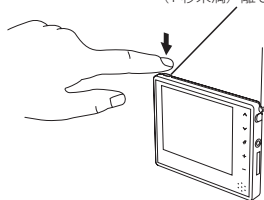
「機器設定」の「電源ボタンの割当」で、電源ボタンに割り当てる機能を選択します。

メモ 設定方法は、26 ページ「いろいろな設定」を参照してください。

メモ 初期値は「使用しない」になっています。

2

電源ボタンを短く押して（1 秒未満）離します。



メモ この機能は、メニューが表示されているときは働きません。

（次のページに続く）

チャンネル設定の呼び出し

チャンネル設定時に [設定 1] ～ [設定 4] に登録したチャンネルリストを呼び出せます。

複数の受信地域を移動する場合に、毎回、受信可能なチャンネルを設定しなくても簡単に切り替えられます。



選択したチャンネル設定に切り替わります。

いろいろな設定

設定のしかた

1 メニュー/選択ボタンを押してメニューを表示します。



設定項目のリストが表示されます。

※ 各設定項目の内容については、27 ページ「設定項目一覧」を参照してください。



設定画面が表示されます。



設定項目一覧

✕モ ■■■ は工場出荷時の設定です。

TV 設定

項目	内容	設定
字幕	字幕放送の視聴時に、字幕を表示するかどうかを設定します。	表示 / 非表示
音声	二カ国語放送の視聴時に、スピーカーやイヤホンから出力する音声の種類を設定します。	主音声 / 副音声 / 主 + 副
チャンネル (地域設定)	地方と都道府県 / 都市を選択して、チャンネルを登録します。 チャンネル設定は、設定 1 ~ 4 に登録できます。	16 ページ参照
チャンネル (自動設定)	全チャンネルをスキャンして、受信可能なチャンネルを登録します。 チャンネル設定は、設定 1 ~ 4 に登録できます。	17 ページ参照
情報表示	画面に表示される「時計」、「電波の受信状態」、「バッテリーの残量」のアイコンの表示 / 非表示を設定します。チェックマークが付いている項目が表示されます (*)。	表示 / 非表示

* 電波の受信状態を「非表示」に設定しても、電波が受信できないことを示すアイコン (✕) は表示されます。

機器設定

項目	内容	設定
Language（言語）	メニュー画面などの言語を選択します。	日本語/English
配色	メニュー画面などの色を選択します。[選択] ボタンを押すたびごとに色が変わります。	黄緑 / 紫 / 青 / 赤 / 茶 / 緑
液晶パネル	液晶パネル（バックライト）の明るさを設定します。[上へ] ボタンを押すと明るく、[下へ] ボタンを押すと暗くなります。[初期設定] ボタンを押すと、工場出荷時の明るさに戻ります。	1 ～ 7（工場出荷値：3）
電源ボタンの割当	電源ボタンを短時間（1 秒未満）押したときに呼び出す機能を設定します。	字幕 / 音声 / チャンネル一覧 / 番組ガイド / 消音 / 使用しない
ファームウェア更新	本機のファームウェアを更新します。	36 ページ参照
バージョン	現在のファームウェアのバージョンが表示されます。	—
工場出荷設定	次の設定を工場出荷時の状態に戻します。 字幕 / 音声 / チャンネル / 情報表示 / Language / 配色 / 液晶パネル / 電源ボタンの割当 / 音量	はい / いいえ

故障かな？と思ったら

表示のトラブル

症状	対処	参照ページ
映像も音声も出ない	電源がオンになっているか確認してください。	20
	電波を受信できていますか？画面のアンテナアイコンの表示を確認してください。受信状態が悪いときは、アンテナの向きを変えたり、場所を変えてください。	11,12
	チャンネルは設定しましたか？まだ設定していないときは、受信可能なチャンネルを設定してください。	16
	選択しているチャンネルは現在放送中ですか？番組ガイドなどで情報を確認してください。	23
音声がでない	音量が最小になっていませんか？音量 + / 音量 - ボタンを押して音量を調節してください。	20
	イヤホンを接続していませんか？イヤホンを接続しているときは、本体のスピーカーから音声は出ません。	—
	イヤホンは確実に接続されていますか？差し込みが不十分だと、イヤホンから音が出ないことがあります。	—
	視聴中の番組は音声のない放送ではありませんか？	—
映像が出ない	視聴中の番組は映像のない放送ではありませんか？	—

はじめて使うとき	使うための準備	使いかた	いろいろな設定	故障かな？と思ったら
----------	---------	------	---------	------------

映像や音声のとぎれる ノイズが出る 映像が崩れる	電波の受信状態が悪いときにこのような症状が出ます。画面のアンテナアイコンで受信状態を確認してください。受信状態が悪いときは、アンテナの向きを変えたり、場所を変えてください。	11,12
番組が受信できない	お住まいの地域でワンセグ放送が始まっていますか？Dpaのホームページなどで確認してください。	1
	正しい手順で操作していますか？もう一度、操作し直してみてください。	20
	アンテナを一杯まで伸ばしてください。	20
	電波を受信できていますか？画面のアンテナアイコンの表示を確認してください。受信状態が悪いときは、アンテナの向きを変えたり、場所を変えてください。	11,12
	チャンネルは設定しましたか？まだ設定していないときは、受信可能なチャンネルを設定してください。 また、チャンネル設定を行った場所と異なる地域で視聴する場合は、チャンネル設定をやり直してください。	16
	視聴中のチャンネルは現在放送中ですか？番組ガイドなどで情報を確認してください。	23
チャンネルと番組が一致しない	チャンネル設定を行った場所と異なる地域で視聴していませんか？その場合は、チャンネル設定をやり直してください。	16
視聴したいチャンネルが登録できない	正しい手順でチャンネルを設定しましたか？チャンネルを設定し直してみてください。	16
	電波を受信できていますか？画面のアンテナアイコンで受信状態を確認してください。受信状態が悪いときは、登録できない場合があります。 アンテナの向きを変えたり、場所を変えてください。	11,12

(次のページに続く)

番組ガイドの情報が表示できない	番組ガイドの表示手順は正しいですか？操作し直してみてください。	23
	電波を受信できていますか？画面のアンテナアイコンの表示を確認してください。受信状態が悪いときは、表示できない場合があります。アンテナの向きを変えたり、場所を変えてください。	11,12
字幕が表示されない	「TV 設定」の「字幕」は「表示」に設定されていますか？確認してください。	26, 27
	視聴中の番組は字幕情報のない放送ではありませんか？	—
	電波を受信できていますか？画面のアンテナアイコンの表示を確認してください。受信状態が悪いときは、表示できない場合があります。アンテナの向きを変えたり、場所を変えてください。	11,12
時刻が表示されない	電波を受信できていますか？画面のアンテナアイコンの表示を確認してください。受信状態が悪いときは、表示できない場合があります。アンテナの向きを変えたり、場所を変えてください。	11,12
	視聴しているチャンネルが時刻情報を発信していない場合は、時刻は表示されません。	—

本体のトラブル

症状	対処	参照ページ
電源がオンにならない	充電してみてください。	14
	長時間充電しても電源がオンにならないときは、内蔵バッテリーが消耗している可能性があります。弊社サポートセンターまで修理交換をご依頼ください。内蔵バッテリーは消耗品のため、劣化による交換は保証期間内であっても保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。	—
	電源ボタンは 1 秒以上押してください。	—
タッチボタンを押しても反応しない	タッチボタンは、絵の中心を指先で軽く押してください。	—
	ボタン操作が無効（ホールド）になっていませんか？確認してください。	24
	しばらく時間をおいても症状が改善されないときは、本体裏面の「リセットスイッチ」をボールペンの先端などで押してください。電源を入れなおしても症状が変わらないときは、弊社サポートセンターまでご連絡ください。	—
タッチボタンの反応が悪い	チャンネルの切り替え中や電波の受信状態が悪いときなど、本体内の処理が優先されてボタンの反応が悪くなることがあります。ボタンを連打せず、少し時間をおいてから操作しなおしてください。	—

（次のページに続く）

タッチボタンがおかしな挙動をする	タッチボタンに水滴や汚れが付いていないか確認してください。水滴や汚れが付いているときは、電源をオフにして、乾いた柔らかい布でふき取ってください。	7
	タッチボタンに触れていないのに勝手に操作が行われるときは、本体裏面の「リセットスイッチ」をボールペンの先端などで押してください。電源を入れ直しても症状が変わらないときは、弊社サポートセンターまでご連絡ください。	—
映像が暗い	液晶パネルの明るさが暗めに設定されていませんか？明るめに設定し直してください。	26, 28
	液晶パネルの設定値を上げても明らかに暗いときは、バックライトが消耗している可能性があります。弊社サポートセンターまでご連絡いただき、バックライトの交換修理をご依頼ください。バックライトは消耗品のため、劣化による交換は保証期間内であっても保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。	—
内蔵バッテリーの保ち時間が短くなった	液晶パネルの明るさが明るめに設定されていませんか？明るめに設定すると消費電力が増えるため、動作時間が短くなります。	26, 28
	本体のスピーカーで音声を聞いていませんか？スピーカーの方がイヤホンよりも消費電力が多いため、動作時間が短くなります。	—
	内蔵バッテリーが消耗しているときは、弊社サポートセンターまでご連絡いただき、内蔵バッテリーの交換修理をご依頼ください。内蔵バッテリーは消耗品のため、劣化による交換は保証期間内であっても保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。	—

充電できない	電源ケーブルや AC アダプターの接続方法が正しいか確認してください。	14
	パソコンから充電する場合は、パソコンの電源がオンになっているか確認してください。一部の機種を除き、パソコンの電源がオフのときは充電できません。	—
	内蔵バッテリーが消耗しているときは、弊社サポートセンターまでご連絡いただき、内蔵バッテリーの交換修理をご依頼ください。内蔵バッテリーは消耗品のため、劣化による交換は保証期間内であっても保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。	—

エラー表示と対処方法

エラー表示	対処方法	参照ページ
チャンネルを設定してください／ チャンネルが設定されていません	チャンネルが設定されていません。 チャンネル設定を済ませてから、ご使用ください。	16
番組情報を取得できません	受信状態が悪いなどの理由により、番組情報を取得できませんでした。 電波の受信状態の良い場所で、番組ガイドを実行してください。	23
電池残量がありません 5 秒後に電源が切れます	バッテリー残量がほとんどありません。 バッテリーを充電してから、ご使用ください。	14
ホールド状態 ホールドスイッチを解除してください	ホールドスイッチが「オン」になっている状態で、電源がオンになりました。 本機下側面のホールドスイッチを左に戻してから、電源をオンにしてください。	24

ファームウェアの更新

より快適な動作のために、ファームウェア（本体の動作のソフトウェア）を更新する場合があります。更新の有無、変更内容、更新手順、更新のために必要なパソコンの動作環境などの情報は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.bluedot.co.jp/>

メモ 更新作業には、パソコンと、本機付属の電源ケーブルが必要です。

注意 更新作業を行う前に、本体のバッテリーを満充電にしてください。また、本体を接続するパソコンは、バッテリー駆動ではなくコンセントから電源を供給してください。更新作業中にバッテリーが切れて本機やパソコンの電源がオフになると、本機が動作できなくなる可能性があります。

注意 更新作業中は絶対に電源ケーブルを取り外さないでください。本機が動作できなくなる可能性があります。

1 メニュー / 選択ボタンを押してメニューを表示します。

2 音量 + ボタンを押して【機器設定】を選択します。

3 下ボタンを4回押して「ファームウェア更新」を選択します。

4 パソコンと本体を電源ケーブルで接続します。

5 パソコンでファームウェア更新プログラムをダウンロードし、実行します。
本機の画面右上に【はい】【戻る】ボタンが表示されます。

6 【はい】ボタンを押します。
ファームウェアの更新が始まります。

7 ファームウェアが更新されると、自動で本体が再起動します。

メモ 詳しい手順は、更新時に弊社ホームページなどに掲載する手順書を参照してください。

廃棄について

本機を廃棄するときは、本体に内蔵されているバッテリーを取り外してリサイクルする必要があります。

注意 バッテリーの取り外しや回収先に関する詳しい情報は、弊社ホームページ (<http://www.bluedot.co.jp/>) をご覧いただくか、サポートセンター (TEL:048-662-7784/support@bluedot.co.jp) までお問い合わせください。

製品仕様

型番	BTV-350
液晶パネル	3.5 インチ・カラー TFT 液晶
画面画素数 (*1)	320 × 240 画素
寸法	幅 98mm × 高さ 73mm × 奥行き 12mm
重さ	約 100g (バッテリーを含む)
受信チャンネル	UHF:13ch ~ 62ch (ISDB-T、1-Segment)
音声出力	イヤホン:16mW+16mW (ステレオ) スピーカー:150mW (モノラル)
接続端子	電源端子: 専用 24 ピン イヤホン端子: φ 3.5mm 3 極ミニプラグ
外部電源	付属 AC アダプター (入力:AC100V-240V、出力:DC5V 0.6A)
内蔵電源	Li ポリマー充電式バッテリー (約 1280mAh)
連続視聴時間 (*2,*3)	約 3 時間
充電時間 (*2)	約 3 時間
動作環境	温度: +5 ~ +35℃ 湿度: 30 ~ 80% (結露無きこと)

*1 液晶パネルは高精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。

*2 バッテリーの充放電時間は、周囲の環境や使用条件によって異なります。

*3 液晶の明るさと音量が工場出荷値、イヤホン使用、タッチパネル操作なしの場合の計測値です。

BLUEDOT®

BLUEDOT 株式会社

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-22-2 E,S 林ビル

E-mail : info@bluedot.co.jp

URL : <http://www.bluedot.co.jp>

ブルードットサポートセンター

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 1-677

Tel : 048-662-7784

E-mail : support@bluedot.co.jp
